

令和 5年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名 小平市
 学校名 小平市立小平第十三

1 事業目的 協議会名 グリーンキーパー13

- ・学校と地域の連携・協力を深め、地域の教育力を向上させる一助として、校庭芝生の維持管理を両者が協同して行う。
- ・本校の特色である「裸足の運動会」「裸足の休み時間」の実施に向け、校庭芝生の養生・整備を進める。
- ・子供たち体を動かす喜びを味わうことで体力の向上を図る一助として、安全で気持ちよく体を動かせる環境を整備する。
- ・芝の整備により、子供たちの膝への負担や転倒時のけがの軽減など、学校生活環境における安全確保を図る。

2 主な取組と成果

今年度は地域との協働をさらに深めるため、児童とグリーンキーパーと一緒に芝の維持にかかわるようにした。雑草取りや芝の補植作業を一緒に行うことで、学校と地域の連携・協力を深め、地域の教育力を向上させる一助となった。夏季休業中を除く週3回ずつの芝刈り作業でも、学校と地域が協同して当たり、地域と一体となって児童を育成する体制のさらなる強化を図ることができた。本校の特色である「裸足の運動会」や、「裸足の休み時間」を円滑に実施することができた。さらに、体育科の授業も5～10月の期間中は裸足で行うなど、事業を活用した地域の諸活動は学校の教育活動を支えている。

校庭芝生の管理については、学校ホームページや学校メールで広報活動を行い、グリーンキーパーの活動は広く保護者・地域に知られ学校教育への信頼を高める一助となっている。学校・地域・保護者が一体となった芝生管理は、地域の教育力をさらに高める一助にもなっているだけでなく、学校からの積極的な地域への働き掛けが、地域の活性化にもつながっている。

3 取組内容

- ◆高学年児童とグリーンキーパーによる芝の補植作業
 実施日：5月15日～7月12日 参加人数：環境員会児童(22名)とグリーンキーパー(4名)
 ポット苗を作って育て、芝生の剥けてしまった箇所への補植を行い児童と地域の協働が実現した。
- ◆高学年児童とグリーンキーパーによる雑草取り作業
 実施日：6月20日 参加人数：高学年児童(135名)とグリーンキーパー(4名)
 高学年児童全員とグリーンキーパーが芝生に入り込んだ雑草(スズメカビワ)を協働で除去した。雑草の除去を望んでい地域の願いを、児童(学校)と地域が共同で実現した。
- ◆全校児童による「裸足の運動会」
 実施日：10月22日 対象者数：全校児童 保護者・地域協力者
 参加人数：全校児童368名 保護者・地域協力者 約600名
 主な内容 全校児童による裸足で参加する運動会。安全で気持ちよく体を動かせる環境の整備を実現し、市内で唯一裸足で行える運動会として、学校の特色を打ち出すことができた。
- ◆休み時間を裸足で過ごす「裸足の休み時間」の実施
 実施日：5月1日～10月21日 対象者数：全校児童396名
 主な内容 全児童が毎日の休み時間を裸足で遊ぶ。体力向上に向けた取組であるとともに、市内で唯一行える活動で、学校の特色として位置付けるとともに、地域や保護者からも高い評価を得た。
- ◆芝刈り活動の継続
 実施日：5月～11月 対象者数：18名
 主な内容 期間中の夏季休業中を除き、週2回の芝刈り活動を行うことで、学校と地域の連携・協力を深め、地域の教育力を向上させる一助となった。同時に、校庭芝生の維持管理を両者が協同して校庭芝生の養生・整備を進めることで、地域と一体となって児童を育成する体制のさらなる強化を図ることができた



4 今後について

コミュニティスクールとして指定されている本校において、地域との協働は極めて重要な課題である。今年度は、これまでの活動から一歩踏み込んで、児童にも地域の活動への協力ができる場を設け、芝の維持活動を行ったことで、地域との連携を深め、コミュニティを強固なものにする一助が得られた。本事業に後押しをされた活動は、地域の動きの活性化にもつながっている。今後とも校庭芝生化のよさを児童の姿を通して伝え、地域住民の学校教育に対する理解を深めるために、本事業を積極的に活用していきたい。

さらに現在懸案になっている地域のスポーツクラブチームの協力を得ることを、次年度は実現すべく、スポーツチーム代表の芝生会議への参加や芝刈り作業への協力要請を進め、地域との連携をさらに広げながら、学校と地域が共に児童を育てる体制のさらなる強化を図っていきたい。